

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

昨日できなかったことを今日できるようにする教育の推進  
～分かる授業と個に応じた指導～

＜本年度の学力向上策＞

○児童にとって「分かる」授業の展開

- ・主体的・対話的で深い学びを実現することができるように、児童一人ひとりの実態に応じた「学び方」の指導の充実を図る。
- ・実生活に即して場面設定をするとともに、体験活動の充実、目的意識をもった伝え合いの充実を図る。

【学校の授業が楽しい、よく分かったと感じる児童85%以上】

○課題解決型学習の充実と少人数指導・習熟度別学習の充実

- ・大久保スタンダードに基づく授業展開の徹底を図る。
- ・「よい授業」の因子を基に、授業マネジメントを円滑に行い、基礎アップにつながる適応問題に取り組める時間を確保する。
- ・計画的に教職員を配置し、少人数指導・習熟度別学習の充実を図る。
- ・サンサuntimeを活用し、算数の学習の充実を図る。

○家庭学習の啓発と学校・家庭の連携による学力向上

- ・「大久保小学校家庭学習の手引き」に基づき、保護者の協力を得て、児童一人ひとりがより主体的に学習に取り組むことができるようにする。
- ・児童の実態に応じて家庭学習を提示し、家庭で実施できるようにする。
- ・保護者による確認の徹底などの学力向上に向けた協力を啓発する。

【家庭学習に取り組む児童85%以上】

＜本年度の振り返り＞

○児童一人ひとりの実態に応じた「学び方」の指導の充実を図った。自校の学校評価アンケートでは89%の児童が「授業が楽しい」と回答し、92%の児童が「学力が身に付いている」と回答した。

○大久保スタンダードを基盤とした基礎・基本の定着を図るための指導の徹底に努めた。さいたま市学習状況調査における生活に関する調査では、87%の児童が「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した。今後も、児童が「分かった」「できた」を実感することができるように、指導方法の工夫改善に継続的に取り組んでいく。

○家庭学習の充実のため、「大久保小学校家庭学習の手引き」に基づいて、繰り返し指導した。

▲自校の学校評価アンケートにおいて、「家庭学習に取り組む児童85%以上」は達成できなかった。児童の実態に則した課題や学習方法を提示するなど今後も保護者の家庭教育の協力も含めて全校で統一した取組をさらに推進していきたい。